

B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2023



大阪エヴェッサ 山本大扇選手

関西勢チーム初最年少出場

中学校バスケット部から、B1大阪エヴェッサに移籍

男子プロバスケットボールBリーグの18歳以下の選手が出場する国内最高峰の大会「B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP」に、B1大阪エヴェッサの山本大扇選手(14)＝橿原市＝が、関西勢のチームでは初となる中学生での最年少出場を記録した。山本選手は昨夏「さらなる高みへ」と、清風中学校のバスケット部から大阪エヴェッサに移籍。清風中バスケット部の長谷川徹顧問は「将来、プロの舞台で活躍してもらいたい」とエールを送る。

山本選手は近畿大学附属小学校から進学校の清風中学へ。父親とBリーグのブルックリンブルックリンの試合を観戦する中でバスケットに興味を持ち、中学2

年になると非常に意欲を見せた。長谷川顧問は入部してきた時の印象を「当時は小柄で身体の線も細い印象を持っていました。中学2

年になると非常に意欲を見せた。肉体的にもメンタル的にも一気に伸びていきまし

た」と振り返り、「ひたすら努力を重ねる子」と話す。試合では「3Pシュートをバンバン決めてくれた」といい、1試合平均30得点をマークする清風中

的な存在になった。それまで弱小とも呼ばれた清風中は公式戦で勝利を重ねるようになっていった。そしてチームで勝ちにこだわるようにも。

山本選手の自宅には、モルテン社のシューティングマシンが設置されている。学校の練習でも毎日数百本打つが、帰宅後も打ち込むことが山本選手のルーティーン。奈良県を担当しているモルテン社の西川義弘さんは「マシンはカウンターが付いていて打った本数がわかります。普通は学校とかチームの30人くらいで利用いただいているんですが、1カ月で1万本打ってればかなり多い方。山本選手は3カ月で1万2485本も打っていました。1人でこんな数字は見たことがありません」

中学3年の昨年の夏、山本選手は大阪府私立中学校総合体育大会バスケットボール選手権大会で3Pシュートのゴールを量産して清風中は準優勝に輝き、自身はベスト5のMVPに選出された。この時、山本選手は「さらに厳しい場所に身を置いて、高みに挑戦したい」とプロチームの18歳以下の門をたたき、大阪エヴ

エッサに移籍することを決意した。

Bリーグはプロの「トップチーム」を頂点に、18歳以下の「U18」、さらに15歳以下の「U15」「U12」とカテゴリーが設けられる。山本選手は14歳だが、トライアウトでプレーを見た大阪エヴェッサユースチームの鳥和成ヘッドコーチは「想像以上、非常にIQが高く、U18でやっていける」と誘い、トップチームとの交流合宿にも参加させた。

昨年11月から12月に開催された「B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2023」で山本選手は、関西勢のチームでは初の中学生での出場、最年少の出場記録になった。

この活躍に古巣の清風中の長谷川顧問は、将来、プロで活躍し「この出身か」と聞かれたらぜひ「清風中、清風高」と答えてもらいたいとエール。今後は現地へ駆け付けて応援したいとも。山本選手は「大好きで始めたバスケット。自分がどこまでできるのかはわからないけれど、自分で限界を決めず、努力を重ねて母校の清風の名を広め、恩返ししたいと思います」と話し、さらなる高みの先を見つめる。

